

國學院大學文学部 × 国際交流基金アジアセンター 共催

連続フォーラム「アートがつなぐサイエンス・テクノロジー・倫理・美学」

いまネットレーベルから生まれる音楽—流通・都市・経験

講師: tomad (オーガナイザー、DJ、Maltine Records 主宰)

日高良祐 (首都大学東京助教 / メディア研究、ポピュラー音楽研究者)

2018年11月15日(木) 16:10-19:30 会場: 國學院大學 120周年記念1号館305教室

[第1部] 16:10 - 登壇者レクチャー [第2部] 18:00- ディスカッション

入場無料 / 申込不要



Photo: Jun Yokoyama

オンライン流通による作品の視聴環境やサービスの変化は、文化の形成プロセスにも様々な影響を生みだしています。本フォーラムでは、今日的な音楽産業の状況とネットレーベルの活動を概観し、「アジア」の音楽シーンの現在について考えていきます。ネットレーベル Maltine Records 主宰の tomad (トマド) 氏による、アジアのアーティストのおすすめ音楽も紹介。今もっとも顕著な変化をみせる「音楽」を取り巻く状況を参照することで、メディアテクノロジーによる手法や思想、価値観がどのような文化を導いていくのか、これからの可能性について考えます。

参考文献: 『STUDIO VOICE VOL.413 Flood of Sounds from Asia いまアジアから生まれる音楽』(INFAS パブリケーションズ / 2018年9月20日発売号)
キーワード: ネットレーベル、プラットフォーム、MaltineRecords、音楽産業、サブスクリプション、ストリーミング

tomad (オーガナイザー、DJ、Maltine Records 主宰)



國學院大學文学部哲学科卒業。2005年、当時15歳でインターネットレーベル「Maltine Records」を開始。これまでに170タイトルをリリース。同レーベルは国内外のメディアでも紹介され、ダンスポップミュージックの新しいシーンと、東京の同時代のイメージを象徴する存在として注目されている。これまでに、マニラや中国、ニューヨークでもイベントを開催し、海外アーティストの楽曲リリースも多数。2015年には設立10周年を記念し、レーベルの活動をまとめた『Maltine Book』(スイッチパブリッシング)を刊行。

<http://maltinerecords.cs8.biz>

日高良祐 (メディア研究、ポピュラー音楽研究者)

首都大学東京システムデザイン学部インダストリアルアート学科助教。デジタルメディア技術の受容過程とそれに合わせて生じる文化変容に関心を持ち、主にインターネットを介した音楽流通を対象にした調査を行う。最近の仕事に共著「『ネット文化』としてのMODの受容—1990年代における音楽ファイルフォーマットの伝送実践」(毛利嘉孝編著『アフターミュージック—実践する音楽—』東京藝術大学出版会、2017年)、「サニーデイ・サービスによる音楽メディア選定の魅力と体力」(『ユリイカ2018年1月号 特集=サニーデイ・サービス』青土社、2017年)ほか。

<http://ryskhd.net>

お問い合わせ: 國學院大學文学部哲学科 研究代表者: 准教授 松谷容作 Email: matsuta_y@kokugakuin.ac.jp
国際交流基金アジアセンター 文化事業第1チーム 担当: 鹿島、廣田 電話: 03-5369-6140

※本フォーラムは、國學院大學平成30年度学部研究費による共同研究「アート、サイエンス、テクノロジー、倫理をつなぐプラットフォーム形成のための調査研究」の一環として行われます。